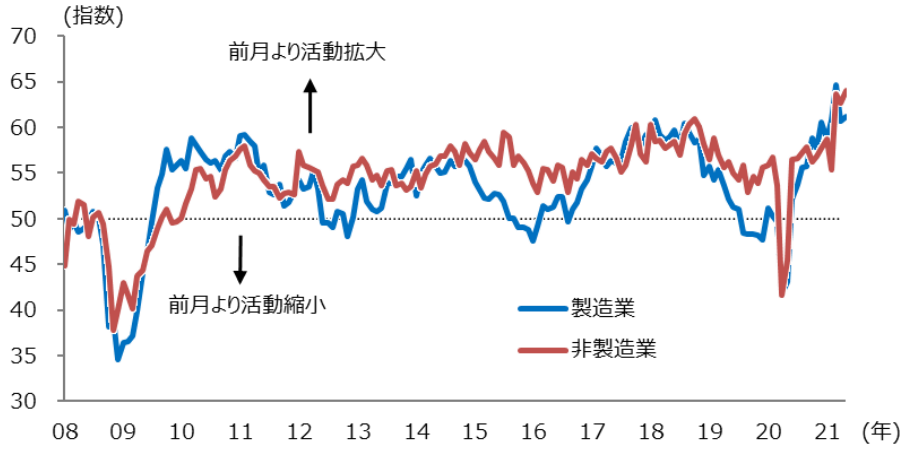
米国

ISM景況指数（2021年5月）

企業の景況感は引き続き回復も、供給面の制約が継続

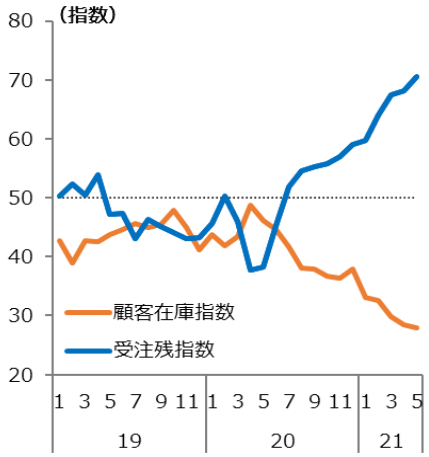
政策・経済センター
田中嵩大　小出知弘
03-6858-2717

1 ISM景況指数（総合）



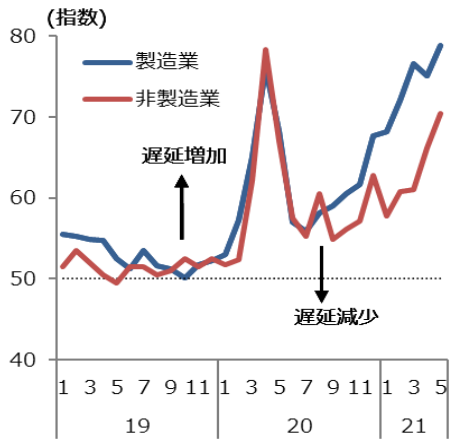
注:新規受注・生産等の項目について、前月と比べ「改善している・変化なし・悪化している」の3択で行った企業アンケート結果を加重平均して算出。50以上が活動拡大を示す。 出所：Institute for Supply Management®（ismworld.org）

2 顧客在庫と受注残指数(製造業)



出所： Institute for Supply Management®（ismworld.org）

3 入荷遅延指数



出所： Institute for Supply Management®（ismworld.org）

評価ポイント

今回の結果

- 21年5月のISM製造業景況指数（6/1公表）は61.2と、前月から上昇し、12カ月連続で活動拡大を示す50を上回った。
- 製造業指数を構成する5項目のうち、新規受注（67.0）、入荷遅延（78.8）、在庫（50.8）で上昇した。生産（58.5）、雇用（50.9）は低下した。サブ項目である受注残（70.6）も上昇した。業種別では、印刷とアパレルを除く16業種が成長を報告した。
- 21年5月のISM非製造業景況指数（6/3公表）は64.0と、前月から上昇し、同項目の集計が始まった97年以降で最も高い水準となった。
- 非製造業指数を構成する4項目をみると、ビジネス活動（66.2）、新規受注（63.9）、入荷水準（70.4）、は前月から上昇した一方で、雇用（55.3）は前月から下落した。業種別では、18業種全てが活動拡大を報告した。

基調判断と今後の流れ

- 米国企業の景況感は高い水準を維持している。
- 先行きも、ワクチン接種のさらなる進展で経済活動の正常化が進むことから、米国企業は良好な景況感を維持すると見込む。製造業では受注残指数が上昇（図表2）していることからもさらなる改善が期待できる。非製造業に関しても事業の再開やベントアップ需要による売り上げの増加から引き続き高い景況感の維持が見込める。
- 先行きのリスクとしては、仕入れ価格指数が製造業で88.0、非製造業で80.6と高い水準に留まっており、今後も原材料の価格上昇は続くことが懸念される。
- また、引き続き人手や原材料の不足、供給網の乱れなどの理由から、需要に対して供給が追い付かないといった声が多くみられた。顧客在庫指数は過去最低の水準に低下、入荷遅延指数は上昇しており（図表3）、当面は入荷遅延が続くと予想されることから、景況感回復に水を差す可能性がある。

Copyright (C) Mitsubishi Research Institute, Inc.